



★インタビュー

この人に聞きたい!

第5回 鹿島支部 神栖市 行政書士神栖さとう事務所

佐藤 鉄也 会員

聞き手・文：大槻 茂 通信員



佐藤鉄也先生は会員登録されて以来、現在は鹿行支部の理事として遺言セミナーのモデル作成や本会においても運輸交通部において研修講師をされるなど、36歳の若さで若手士業のリーダーとして大変ご活躍されています。今回は、佐藤先生から特に開業の浅い先生にとってそのエネルギー源は何なのか、士業向上のヒントをお伺いしたいと思います。

通信員 開業して何年目になりますか？
行政書士を志したキッカケは何ですか？

佐藤 平成25年6月に登録しましたので、本年で8年目になります。その2年前に東日本大震災がありました。当時、私は東京の某メーカーで営業の仕事をしており、故郷の神栖市でも鹿島港などで甚大な被害に遭いました。多くの方々が生活面で問題を抱えており、その時少しでも市民の力になれるのは行政書士ではないかと思い志しました。

通信員 開業時はどのような取り組みをされましたか？ また、業務が軌道に乗るまでどのくらいかかりましたか？

佐藤 当時は自宅での業務スタートだったのですが、営業職経験で鍛えられましたから、関係する会社などへ飛び込みで手づくりのチラシを配ったり、地域の情報誌でPRしたりしました。また、相続問題などについては自主セミナーを開催してPRに努めました。3年目ぐらいから仕事も入るようになり、自宅では業務が困難になってきましたので、思い切って平成30年10月に現在の事務所へ移転しました。補助者2名の3名体制で活動しています。

通信員 主にどんな業務を取り扱っていますか？
その中で得意とする分野は何ですか？

佐藤 許認可業務としては、一般貨物関係と建設業関係が中心でそれぞれ2分の1程度、他に相続関係と在留資格申請取次など幅広く取り扱っていますが、特に一般貨物は専門としているところです。

通信員 そんななかで苦労したことはありますか？
また、無駄だったと感じたことはありますか？

佐藤 そうですね。思い返せば苦労はあったように思いますが、必死でやっていたので、苦労していると思う余裕はなかったですね。困難案件でも、業務は完遂しなければならないので、ぶつかる“課題”を乗り越えることに必死です。一生懸命やったことがなかなか結果に結びつかないときは、残念に思いますけど・・・でも、どんなことでも何かに繋がりますので無駄だったとは思っていません。結果を考えてしないようにしています。

通信員 なるほど、それは良いことですね。では、失敗談はありますか？

佐藤 1件だけ記憶に残っていることがあります。お客様から、申請のための要件はすべて充足しているのに書類作成だけをお願いしたいという話を鵜呑みにして準備していたところ、申請期限間際になって、実は必要な条件が一部整っていなかったという案件がありました。この時は本当に参りました。結局、期限内に申請できませんでした。

通信員 そうですか。鵜呑みにしちゃいけないということですね。確認することも大切だということですね。では、これまでやってきて良かったこと(行政書士冥利に尽きる)と思ったことは何ですか？

佐藤 自分でお手伝いした方々の事業が、少しずつ確実に成長している姿が見られるときですね。何

よりの喜びを感じますし、さらにステップアップへの源になります。

通信員 これまでで印象に残っていることは？

佐藤 許可申請に携わった事業者が廃業されたことです。その時はもっと何かしてあげられたのではないかと悔やみました。

通信員 組合を立ち上げるという話をお伺いしましたが、それはどんなことですか？

佐藤 行政書士会員の皆さまの資質向上と経営基盤強化のために活動する法人として事業協同組合の設立に取り組んでいます。

J Aが農業従事者のためにあるように、組合員となる行政書士のための法人ということです。会員のための事業を行うという意味では、行政書士会と同様ですが、本会はその活動に一定の制約があります。組合では、これを補完し、さらに共同購買や福利厚生事業等を展開する予定です。設立後は、本会と強力に連携し、様々な事業を通して会員の皆さまの安定的な事業経営と、地位向上に役立てられれば良いと思います。

通信員 現在ほどの程度まで進んでいるのですか？

佐藤 このまま順調にいけば秋ごろには動きだせるだろうと期待しています。すでに、いくつかの提携候補事業者とも提携に向けて調整しているところですよ。

通信員 そうですか。県内の会員にとって活動しやすい環境を整えていただけると大変助かりますね。楽しみに期待しています。では、今後の事業展開、将来の目標を聞かせてください。

佐藤 地域に根差した行政書士として、事業者や市民の身近な相談役として頼られ、そして少しでも役に立てる存在でありたいと思います。そのため、今後も努力していくつもりです。

通信員 (仕事から離れて、) 佐藤先生の趣味、又はストレス解消法について聞かせてください。

佐藤 いまは特にありませんが、お酒屋さんでお酒を見ることは楽しいですね。飲みませんが。たまに車を運転したり、家族みんなで団らんでいるだけで明日の活力源になります。

通信員 最後に、入会間もない新人へ贈る言葉など聞かせてもらえませんか？

佐藤 行政書士はとても素敵な職業だと思います。業務は定型のようでありながら、非常に自由度が高く、可能性はとても広いですね。営業面でいえば、どんな取り組みも全く無駄になることはありません。いろいろな人に会って、いろいろな意見を聞いて私自身学ばせてもらいながら、その縁で繋がってきました。いま、行政書士をしていられるのは、数々の”おかげさま”が重なったからに他ならないと思っています。若輩の私が言うことに少し憚りますが、縁を大切に、その縁に感謝することは必然的に業務に繋がっていくのではないのでしょうか。

インタビューの話があつてすぐに頭に浮かんだのは佐藤鉄也先生でした。36才という若さで自宅から賃貸事務所へ移し多岐にわたる業務をこなしています。特に運送業においては茨城県の重鎮としてご多忙な日々を過ごしています。今回のインタビューを通して、苦勞を楽しみと捉え前向きに努力する先生の言葉は印象的でした。そして、人間的な魅力を感じました。現在、私たち士業のために事業協同組合設立に向けて努力されていますが、益々のご活躍を祈念します。